

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田葬斎場		No.	49
大分類	14その他(普通財産を含む)			
小分類	斎場、墓苑			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	環境生活部環境政策課
ブロック	西部
地区	鳥井

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	調整中
『該当する』を 選択した理由	令和4(2022)年度にコンサルに委託し、大田・温泉津・仁摩葬斎場を調査を実施、次期葬斎場の在り方の基礎資料を作成した。報告では大田葬斎場の大規模改修による長寿命化を実施し、温泉津・仁摩葬斎場については、適切な時期に閉鎖する内容であった。この報告をもとに令和8年度に大田葬斎場を大規模改修し、令和8年度をもって老朽化の著しい仁摩葬斎場を閉場、令和12年度に温泉津葬斎場を段階的に閉鎖する方針を決定した。今後市民への理解を求めていく。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2026年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	指定管理者と協議 市内3葬斎場の統廃合について方針決定 施設の統廃合について議会説明		統合に向けた検討
第2期	2024年度	プロポーザルにより火葬炉事業者を選定 施設長寿命化改修工事実施設計	プロポーザルによる火葬炉事業者の選定
	2025年度	施設長寿命化改修工事施工事業所を決定	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和 63 年
建物延面積	679.34 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市葬斎場条例
設置(目的等)	墓地、埋葬等に関する法律(昭和23年法律第48号)による火葬の施設として大田市葬斎場(以下「葬斎場」という。)を設置する。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

##### 【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	7,641,250円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		7,641,250円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料	19,679,000円		指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	1,732,500円	火葬炉台車改修等	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	10,203円	保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		21,421,703円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-13,780,453円	市民一人あたり税金充当額	-442円/人
	延床面積あたり税金充当額		-20,285円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-37,755円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	仁摩葬斎場		No.	50	担当部署名	環境生活部環境政策課	
大分類	14その他(普通財産を含む)						
小分類	斎場、墓苑						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名			計画期間	改定・見直し 時期	
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由	廃止を予定しているため	

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	調整中
『該当する』を 選択した理由	令和4(2022)年度にコンサルに委託し、大田・温泉津・仁摩葬斎場を調査を実施、次期葬斎場の在り方の基礎資料を作成した。報告では大田葬斎場の大規模改修による長寿命化を実施し、温泉津・仁摩葬斎場については、適切な時期に閉鎖する内容であった。この報告をもとに令和8年度に大田葬斎場を大規模改修し、令和8年度をもって老朽化の著しい仁摩葬斎場を閉場、令和12年度に温泉津葬斎場を段階的に閉鎖する方針を決定した。今後市民への理解を求めていく。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2026年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	指定管理者と協議 市内3葬斎場の統廃合について方針決定 施設の統廃合について議会説明		統合に向けた検討
第2期	2024年度	プロポーザルにより火葬炉事業者を選定 施設長寿命化改修工事実施設計	プロポーザルによる火葬炉事業者の選定
	2025年度	施設長寿命化改修工事施工事業所を決定 施設の統廃合に伴う住民説明	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和 62 年
建物延面積	202.50 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市葬斎場条例
設置(目的等)	墓地、埋葬等に関する法律（昭和23年法律第48号）による火葬の施設として大田市葬斎場（以下「葬斎場」という。）を設置する。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

		内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
収入	①使用料金収入		大田葬斎場へ記載		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金				国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他				使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計				※グレーのセルは自動計算されます。	
		内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
支出	①指定管理料		大田葬斎場へ記載		指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用		368,280円	エアコン更新	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他		2,664円	保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			370,944円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			-370,944円	市民一人あたり税金充当額	-12円/人
	延床面積あたり税金充当額			-1,832円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-1,016円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	池の原公衆便所		No.	51	担当部署名	環境生活部環境政策課	
大分類	14その他(普通財産を含む)						
小分類	公衆便所						
個別施設計画(長寿命化計画)の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画)マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名			計画期間	改定・見直し時期	
	無	策定期限	今後の策定予定の有無	なし	策定しない場合理由	廃止を検討しているため	

担当部署名	環境生活部環境政策課
ブロック	三瓶
地区	池田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる施設評価チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模建替え	担当課方針	関係者調整状況
	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止	調整中
『該当する』を選択した理由	施設の老朽化が著しいこと。また1.5km離れた西の原公衆トイレが改修済。利用者数も少なく役割としては終了したと考えており、さらに年間26万円程度の維持管理費用がかかるため廃止の方針。一定の理解はあるものの、景勝地で日本遺産の構成要素の浮布池の保存活用を進める地元は、存続を希望し市に理解を求めているため、引き続き廃止に向け地元と協議する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)				第3期(2028~2033年度)			
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2026年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	建物調査 今後の方針の検討		
第2期	2024年度	進捗していない	清掃を行っている自治会からは、一定の理解は得られたが、地元の統一意思は存続のため、引き続き地元と廃止に向けて協議を行う
	2025年度		
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和 38 年
建物延面積	17.93 m <sup>2</sup>
構造	コンクリートブロック造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	-
設置(目的等)	-
適正化計画上の実施方針	現施設は廃止を原則とする。

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	267,809円	浄化槽管理料等	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計	267,809円		※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-267,809円	市民一人あたり税金充当額	-9円/人
	延床面積あたり税金充当額		-14,936円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-734円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大平山休憩所（室内展望所）		No.	52
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設			
小分類	観光・保養施設			
個別施設計画（長寿命化計画）の策定有無	有	計画名	計画期間	改定・見直し時期
	無	策定期限	今後の策定予定の有無	策定しない場合理由

担当部署名	環境生活部環境政策課
ブロック	三瓶
地区	志学

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる施設評価チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模建替え	担当課方針	関係者調整状況
『該当する』を選択した理由									

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)				第3期(2028～2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討			令和4年度廃止・解体済					
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
	これまでの取組状況			
第2期	2024年度			
	2025年度			
	2026年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	昭和 40 年
建物延面積	48.85 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(耐震済)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	-
設置(目的等)	-
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

##### 【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	温泉津葬斎場		No.	145	担当部署名	環境生活部環境政策課	
大分類	14その他(普通財産を含む)						
小分類	斎場、墓苑						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名			計画期間	改定・見直し 時期	
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由	廃止を予定しているため	

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	調整中
『該当する』を 選択した理由	令和4(2022)年度にコンサルに委託し、大田・温泉津・仁摩葬斎場を調査を実施、次期葬斎場の在り方の基礎資料を作成した。報告では大田葬斎場の大規模改修による長寿命化を実施し、温泉津・仁摩葬斎場については、適切な時期に閉鎖する内容であった。この報告をもとに令和8年度に大田葬斎場を大規模改修し、令和8年度をもって老朽化の著しい仁摩葬斎場を閉場、令和12年度に温泉津葬斎場を段階的に閉鎖する方針を決定した。今後市民への理解を求めていく。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2032年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	指定管理者と協議 市内3葬斎場の統廃合について方針決定 施設の統廃合について議会説明		統合に向けた検討
第2期	2024年度	プロポーザルにより火葬炉事業者を選定 施設長寿命化改修工事実施設計	プロポーザルによる火葬炉事業者の選定
	2025年度	施設長寿命化改修工事施工事業所を決定 施設の統廃合に伴う住民説明	
	2026年度		

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成4年
建物延面積	225.46 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	土砂災害特別警戒区域

関連条例等	大田市葬斎場条例
設置(目的等)	墓地、埋葬等に関する法律(昭和23年法律第48号)による火葬の施設として大田市葬斎場(以下「葬斎場」という。)を設置する。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	大田葬斎場へ記載		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料	大田葬斎場へ記載		指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	4,301円	保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		4,301円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-4,301円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-19円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-12円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	仁万漁港リサイクルボックス		No.	207
大分類	14その他（普通財産を含む）			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし
			策定しない場合 理由	廃止もしくは地元自治会への移管を検討しているため

担当部署名	環境生活部環境政策課
ブロック	仁摩
地区	仁万

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	③地域移管	開始前
『該当する』を 選択した理由	地元への移管もしくは廃止に向けた検討、協議を行う。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)				第3期 (2028～2033年度)			
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		2026年度							

←塗りつぶし使用色

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
	これまでの取組状況			
第2期	2024年度		進捗していない	経年劣化により破損しているしている箇所が多く、地元移管する場合は改修が必要。
	2025年度	地元への移管もしくは廃止に向けた検討、協議を行う。		
	2026年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成13年
建物延面積	4.78 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	近隣住民が分別収集ステーションとして使用するため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



(2)収入・支出

		内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
収入	①使用料金収入				施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金				国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他				使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計				※グレーのセルは自動計算されます。	
		内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
支出	①指定管理料				指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	43,997円		屋根修繕	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	183円		保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計				44,180円	※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			-44,180円	市民一人あたり税金充当額	-1円/人
	延床面積あたり税金充当額			-9,243円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	-121円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	天河内リサイクルボックス		No.	208
大分類	14その他（普通財産を含む）			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし

担当部署名	環境生活部環境政策課
ブロック	仁摩
地区	天河内

改定・見直し 時期	
廃止もしくは地元自治会への移管を検討しているため	

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	③地域移管	開始前
『該当する』を 選択した理由	地元への移管もしくは廃止に向けた検討、協議を行う。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。  
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)				第3期 (2028～2033年度)			
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2026 年度			←塗りつぶし使用色				

#### 4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
	これまでの取組状況			過去に地元自治会と移管について協議を行ったが、建物が老朽化しているほか、私有地に建っているため断られた経緯あり。
第2期	2024年度		進捗していない	経年劣化により破損しているしている箇所が多く、地元移管する場合は改修が必要。
	2025年度	地元への移管もしくは廃止に向けた検討、協議を行う。		
	2026年度			

#### 5. 補足情報

##### (1)施設基礎情報

建築年	平成13年
建物延面積	2.53 m <sup>2</sup>
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	近隣住民が分別収集ステーションとして使用するため
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



## (2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	143円	保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計	143円		※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-143円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-57円/m <sup>2</sup>	1日あたり税金充当額(休館日含)	円/日

## (3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							